福祉部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和8年度第2回）

番号	意見	当日の回答	担当課
1	【地域見守りコーディネーターについて】 報酬については、最低賃金より若干上乗せした額の報酬が払われており、令和8年10月からは、最低賃金が上がるのに伴い、少し上昇する。区役所においてもしっかりと予算の確保をいただいているのでありがたい。 地域見守りコーディネーターとして、報酬が少しづつあがっていることは感謝している。需要も増えてやることも多くなってきているが、区社協や区役所が理解を示していただいているので、頑張っていきたいと思っている。 コーディネーターのモチベーションのためにも（待遇面については）よろしくお願いしたい。	（ご意見のみで回答なし）	保健福祉課 （福祉）
【議題2.特定健診・がん検診の受診率向上についてのご意見】			
2	自分の時間があえば受診すると思うが、特に土日が受診しやすいのではと思う。 土曜日や日曜日もやってくれるところがあると良い。 集団検診だと土日や夜間に実施している場合がある。一人で行くことが嫌だと感じてしまいがちなので、誰かと一緒に行く予定を立てる方が良い。 医療機関でも、結構市内で土日にやっているところはある。そういうリスト表があれば良い。	土曜日や日曜日においても、年間では少ない日数にはなるが集団検診を区役所で実施している。ただ、その辺の周知が十分にはできておらず受診に繋がっていないことも実感している。必要な方に（土日に実施している医療機関の情報も含め）必要な情報が届くように取り組んでまいる。	保健福祉課 （保健衛生）
3	以前は小学校で受診できたが、いつの間にかやらなくなった。小学校で実施すれば来ると思う。 磯路会館で多根病院と調整して出張健診をやっている。本当は、区役所から封筒が届いてすぐにやれば良いが、地域行事との兼ね合いで秋冬になる。多くの方が来られるわけではないが、10名以上集まれば実施してくれるので継続して実施している。わざわざ遠いところに行くのは敬遠しがち。地域の会館であれば来やすい。	令和2年度に健診の受診勧奨を通じて地域コミュニティの繋がりを作るという事業を区役所より発注し、南市岡地域活動協議会と多根病院が受注されて、健診車による特定健診の実施と健康セミナーを各地域の会館もしくは小学校で実施していたことがあり、その名残で現在は、磯路と南市岡と市岡で地域活動協議会の補助事業として継続実施されていると聞いている。 昨年度からは、多根病院において内科医チームによるがん健診の啓発活動として出張講座を八幡屋と築港で実施されている。 他地域でもそれらの実施意向があれば協力願いたい。	保健福祉課 （保健衛生） 窓口サービス課 （保険年金）

福祉部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和8年度第2回）

番号	意見	当日の回答	担当課
4	庁舎内エレベーターで特定健診のチラシを見て、ようやく本気でこの問題に取り組んでいただいていると感じている。 国保加入者は自営業の人が多く、時間が作りづらいというのがある一方、作ろうと思えば作れるはず。私は、後輩がガンになったり、同級生が健診で早期発見できたという経験もあり毎年受診している。 歯周病健診については、現状5年に1回の受診機会を北摂や神戸京都などと同様毎年にしてほしい。今年、大阪市は20歳の対象者に勧奨はがきを送っており、実際2名の20歳の子が受診につながったのを聞いた。良い取組であると思う。 なぜ受けないかというと、痛い、怖い、時間が合わないのが理由だと思う。以前受けた乳がん検診が痛かったのでそれから受診していない。 啓発については、継続して行ってもらえれば良いと思うが、高齢者はスマホの操作が難しいので、かかりつけ医（内科、眼科、皮膚科など）の話は、よく聞くと思うので、かかりつけ医から声をかけて、啓発すればいいのではと思う。 コロナ前は年1回は受診していたが、仕事の関係でなかなか仕事を抜けて受診できず、コロナ以降は、つい億劫になって行っていない。知人が受診して良かったと言う話を聞くと、行こうかなと思う。歯科検診の案内は毎年届くので、これは良い方法であると思う。 私自身は、胃カメラの際に鎮静剤を打たないとできない。有料でもいいから鎮静剤やってもらえれば受診すると思う。 検診料金は、オプションをつければどんどんあがっていく。オプションを明記したパッケージがあれば良い。検診を早く受ければお土産がもらえるとかあればうれしいと思う。 特定健診の受診券は早く届いてもしばらくすればなくてしまうことが多く、それで受診しないというケースもあると思う。その場合でも、経験上、区役所に行けば簡単に再発行してくれることを知っている。その点も周知してくれたら良いと思う。また、肺がん検診を特定健診の中に入れたら良いと思う。 世帯主が社会保険から国保になって、行きたいけど大変だと思うようになった。どこに行っていいかわからない。自分はまだ健康だと思っているので、調子が悪くなれば行くと思う。もっと簡単に注射1本でわかるのが一番だと思う。 私も毎年、区役所で受けているが、決めてしまえばそこからお手紙が来るので、忘れないで毎年受けられる。自分の生活のサイクルで何月が空いている、そこで受けると決めてしまえば良いと思う。 早期発見に繋がった人の話は結構大きい。早期発見できた方のコラムを広報みなとなどで健康コラムとして掲載するとか、ホームページのQRを付けて、病院のネット予約とかが、受けたいと思った時にすぐにできることが大事かと思う。	委員の皆様から、身近な問題として日頃感じているご意見を様々いただいて感謝している。 区役所としてすぐできることもあれば、各関係機関と調整が必要ですぐには難しい内容もあるが、整理しながら受診率向上・区民の健康増進に向けた取組を進めてまいりたい。	保健福祉課 （保健衛生） 窓口サービス課 （保険年金）